

協定企業名	電源開発株式会社
交流行事名	協働の森「やなせ水源の森」交流行事
開催日時	平成25年3月9日(土) 9時20分～14時
開催場所	馬路村魚梁瀬(丸山公園)、小石川山
主な参加者	電源開発社員、馬路村森林組合、馬路村村長、馬路村村議会議員、北川村村議会議員、馬路村職員、高知県職員 参加者数約40名
交流行事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者挨拶：馬路村上治村長、電源開発西日本支店花等支店長代理、高知県環境共生課宮田チーフ(丸山公園) ・記念品贈呈 ・記念撮影(丸山公園) ・植樹体験(小石川山協定林) ・間伐体験(小石川山協定林) ・記念撮影(小石川山協定林) ・昼食(丸山公園内杉の家) ・解散
当日の様子	<p>雲一つない晴天で、絶好のコンディションの中、やなせ水源の森交流活動が開催されました。魚梁瀬ダムが取り持つ縁で電源開発と馬路村、北川村は昔から関係が深く、北川村と馬路村の村議会議員も多数出席され、電源開発の社員の皆さんと交流を深めました。</p>  <p>開会式の後にはさっそく協定林に移動し、間伐体験2班と広葉樹の植樹体験2班に分かれて作業を開始しました。</p> <p>間伐班は森林組合の指導の元、ノコギリで丁寧に間伐をしました。</p> 

植樹班は広葉樹（コナラ、カツラ、ヤマザクラ等）100本を植樹しました。シカの食害を防ぐためヘキサチューブを併せて設置しました。ヘキサチューブは生分解性プラスチックを使用しているため、微生物の働きにより、最終的には二酸化炭素と水になって、自然界へと循環されます。



交流イベントも今回で6回目を数え、電源開発の社員の皆さんも手慣れた手つきで森林保全に努めていただきました。

作業の後は、馬路村の食材で作られた美味しい昼食をいただきながら、懇親を深めました。

